

1 学校教育目標

・かしこい子 ・思いやりのある子 ・たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○「子供たちが輝く学校」 ・子供一人一人のよさを認め、励まし、可能性を最大限に引き出す学校 ・教職員が豊かな感性と情熱をもって、学び続ける学校 ・地域・保護者ととともに、地域愛・学校愛をもった子供たちを育てる学校
○児童・生徒像	・自ら問いをもち、見通しをもって、学び続ける子 ・自分や友達のよさを認め合い、励まし合い、高め合える子 ・夢に向かって、しなやかにたくましく挑戦し続ける子
○教師像	・子供一人一人のよさを認め、励まし、可能性を最大限に引き出す教職員 ・授業力向上に熱意を注ぐ教師 ・学校と地域を愛する教職員

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- ・児童は明るく素直である。落ち着いた中にも活気のある姿が多く見られるが、自尊感情が低い傾向がある。
- ・教職員は、若手教員が多い中、よりよい学校を創っていこうと日々一生懸命努力しており、授業力の向上にも力を注いでいる。
- ・保護者・地域も学校に期待を寄せており、教育活動に協力的である。生活習慣や家庭学習などの定着に向けて、さらに連携を深めていく。

【前年度の成果】

・学校評価（保護者）の「確かな学力の定着」に関する3項目は、児童 87%以上、保護者 86%以上が「よくできている」または「ほぼできている」という結果が出ており、一定の評価は得られた。今後も教師の授業力向上を図っていく3年目の取組となる「本木5つの約束（学習・生活）」が浸透してきており、児童は落ち着いて学習したり、生活したりしている。

・児童の知的好奇心を引き出すために取り組んだ「調べる学習コンクール」は、R1年度 68.8%→R2年度約 96%→R3年 100%と参加率は年々増加。

・人権尊重教育推進校として、研究発表を実施。R2年度と比較し、児童の自尊感情を客観的に表す数値の高まりが見られた。

R2：3.02→R3：3.18 コロナ禍の中、研究授業を（7本）行うことができた。

・全学年 hyper-QU を年に2回実施。SCによる5.6年生全児童面談の実施。週1回の教育相談委員会（管理職・養護教諭・専科・特別支援教室専門員等）実施。学校全体で、配慮すべき児童を確認し、情報共有し、見守り指導していく体制を継続し、児童の心の安定を図ることができた。

・本校の児童の課題である、長座体前屈（柔軟性）、ソフトボール投げ（投力）、シャトルラン（持久力）の記録（平均）が全体的にほぼ上昇。中でも長座体前屈は男女共に全学年で記録が伸びた。

・学校評価「学校・家庭・地域の連携の強化」における情報発信の満足度は90%であった。必要な情報を伝えたり、HPからの情報、授業参観（3回以上）をししたりする等、可能な限り児童の様子が保護者に伝わるようにしてきた。今後も、基本的な生活習慣や家庭学習の定着を図っていく。

【課題】

確かな学力の定着

- ・児童の基礎・基本の学力定着を図る。個々のつまずきにおける取組を強化し、学び直しの徹底を図る。
- ・個々の教員の「授業力」をさらに向上させる。

思いやりのある子の育成

- ・児童が安心して自分のよさを発揮できる環境を整え、人権教育の視点を意識した教育活動をさらに推進させる。

たくましい子の育成

- ・児童が年間を通じて、体力向上を図ることができるよう、工夫した取組を行っていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン 確かな学力の定着 (学習意欲・基礎基本の力・考える力・授業力)	◎	◎	◎	◎	◎
2	思いやりのある子の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	たくましい子の育成	○	○	○	○	○

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン 確かな学力の定着							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)			コメント・課題	達成度 ◎○△●		
児童が自分自身の学力のつまずきを乗り越え、自ら学ぶことの楽しさを感じる授業の実現		重点課題の学習習得 単元テスト・区調査2回目達成率等 85%以上	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力 向上	全教科	通年	・授業力向上の研修計画 ・足立スタンダードによる授業の確立	・授業力向上の研修実施 ・教科担任制を実施 ・足立スタンダードの授業の確立(めあて・まとめ・振り返り)	・年間7回以上の実施 ・全学年で教科担任制の実施 ・足立スタンダードの授業の習得 90%以上			
2 新規	基礎・基本 の学力定 着	国語 算数	通年	・担任・専科教員等が、 重点課題の学力の習得 (例：2年かけ算九九)	・学力向上委員長・担任・専 科教員等が連携し、授業・自 力解決等で取り組ませ、確認	・12月迄に合格 90%以上合格			

3 継続	本木 タイム	全教科	通年 水土	・担任・専科教員等が、 指導・支援が必要な児童 への指導	・担任・専科教員等が MIM・ 単元テスト・区学力調査過去 問等の正答率 ・MIM・単元テスト・区・都・ 国学力テストの正答率等	・12月のMIM-PMでの3rd ステージでの児童15%以下 ・単元テストの平均正答 率85%以上(12月迄) ・区学力テスト達成率 80%以上(2回目)			
4 継続	自力解決 タイム	全教科	通年 月火金						
5 新規	AIドリル	算数	通年	・担任が、家庭学習等の 時間に、個別で活用し、 つまずきを授業で解説	・個人・学級・学年毎のAIドリ ルの活用度	・12月迄に、AIドリルを1週 間に1回以上活用する児 童(3年生以上)が90%以 上			
6 継続	読書	全教科	通年	・年間で読んだ本の冊数 「読書通帳」に記載	・「読書通帳」に記載された本 の冊数・ページ数の合計	・学年の目標を達成した児 童の人数50%以上			

重点的な取組事項－2		思いやりのある子の育成							
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題		達成度	
児童が安心して、自分のよさを発揮できる 学校生活の実現		<ul style="list-style-type: none"> ・hyperQU(全学年実施)の要支援群等 の児童や学級満足度尺度の改善 ・自己肯定感の向上(R3年度以前と の比較) 							
B 目標実現に向けた取組み									
項目	達成基準		具体的な方策		実施結果		コメント・課題		達成度
人権教育の取組	・研究授業7本		・人権尊重教育推進校発表会 に向けて、研究授業の充実						
自己肯定感の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・hyper-QUを全学年2回 実施。要支援群等の児童 等の状況改善。親和的な 学級の増加 ・俳句創作を年4回以上 実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・hyper-QUの分析と改善計画 ・教育相談委員会での情報共有 と改善確認(毎週金曜日) ・生活指導夕会での情報共有と 改善周知(毎週月曜日) ・年4回季節毎に創作し、感性・ 語彙力を磨き、豊かな心を育 む。コンクール等にも参加。 						
本木・本気 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で1本以上実施 ・短期で1本以上実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが、学校生活をよ りよくしていると実感できる ような取組 						

重点的な取組事項－3	たくましい子の育成			
-------------------	-----------	--	--	--

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
規則正しい生活と体力・運動機能の向上	R3年度以前と比較し、 R4年度に改善傾向あり			

B 目標実現に向けた取組み				
----------------------	--	--	--	--

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
規律正しい学校生活の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートより、90%以上が肯定的回答 正しい鉛筆の持ち方をする児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 重点課題について、定期的なアンケート実施（年3回以上） 担任による指導と家庭との連携 			
健康・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の体育の授業で課題解決するための運動を実施 都（R3）や本校の体力調査（R3）の記録の比較平均値の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 「体力アップ記録カード」を活用し、年2回記録を実施 研修にて、教員が課題（柔軟性・持久力・投力）改善のための運動を習得し、授業で継続的に取り組む 			
保健指導・食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 意識調査の「食事」と「睡眠」等に関する項目で90%以上が肯定的回答 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムカードの実施。 養護教諭や栄養士と連携した保健指導や食育指導の充実（授業・給食時の放送等） 保護者会や各種便り等を活用し、保護者への啓発 			

6 まとめ

- | |
|---|
| <p>(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性</p> <p>(2) 保護者や地域へのメッセージ</p> <p>(3) その他（学校教育活動全般について）</p> |
|---|